

令和6年度（2024年度） 学校評価（教職員による自己評価）

（文書配付86名 回答者数86名 回答率100%）

カテゴリ	No.	質問項目	R6	R5	R4
域生「 社会の力を 伸べる中 で豊かに 生きる学 校生活の 主眼地」	1	私は、学校教育目標や目指す児童生徒像、今年度の重点等を意識した指導（業務）を実施することができた。	3.0	3.1	3.2
	2	私は、児童生徒にとって、学校生活を楽しく充実したものにできた。	3.1	3.2	3.3
	3	私は、本校の教育を、児童生徒、保護者にとって満足できるものにすることができた。	2.9	3.0	3.1
	4	私は、学校行事（運動会、球技大会、陸上記録会、学習発表会、学部祭等）は、児童生徒が主体的に取り組めるよう工夫する、又はそのための協力を行うことができた。	3.3	3.3	3.3
児童生徒の 学ぶ意欲が 高まる学校	5	私は、個別の指導計画や個別の生活指導計画を踏まえた指導・支援に取り組むことができた。	3.1	3.2	3.2
	6	私は、児童生徒一人一人の主体性や可能性を大切に授業（生活指導）をすることができた。	3.2	3.1	3.3
	7	私は、小学部から高等部までの一貫性や教科横断的な学びの連続性など、つながりを意識した教育活動に取り組むことができた。	2.8	—	—
	8	私は、児童生徒にとって分かりやすく、意欲的に学習や活動に取り組めるように、発問（指示）や教材提示（ICTを含む）の工夫をすることができた。	3.0	3.0	3.2
	9	私は、児童生徒の成長や学習（生活）の様子を分かりやすく揭示することができた。	3.0	3.1	3.1
	10	私（寄宿舎指導員）は、将来の生活につながる取組（生活力、余暇活動等）を行うことができた。 私（学校職員）は、そのための協力を行うことができた。	3.1	3.2	3.2
保護者が安心、 信頼できる学校	11	私は、学年・学部・舎室が変わったとき、指導目標や指導・支援内容・方法の引継ぎを適切に行うことができた。	3.3	3.2	3.3
	12	私は、学年通信やホームページ、学校だより等で学習活動の様子や情報を積極的に発信することができた。	3.2	3.3	3.3
	13	私は、保護者の思いを受け止めながら児童生徒の教育を行うことができた。	3.1	3.3	3.3
	14	私は、関係機関（美唄学園、デイサービス等）と連携・協力した支援を行うことができた。	3.1	3.2	3.4
	15	私は、進路を考える上で参考となる情報を進路担当やCOと連携して保護者等に提供することができた。	3.1	3.1	3.2
	16	私は、本校のアレルギーに関する対応方針を理解し、除去食や食形態など、児童生徒のニーズに応じた給食を提供することができた。	3.4	3.6	3.6
	17	私は、危機管理意識をもち、避難訓練や不審者及び交通安全等への対応を十分に行うことができた。	3.2	3.4	3.4
	18	私は、他校や他の学部で発生した事故やヒヤリハットを自分事として捉え、再発防止に向けた取組を行ってきた。	3.4	—	—
	19	私は、PTAに協力するための保護者への働きかけを行うことができた。	2.8	3.0	—
	20	私は、児童生徒に「さん」を付けて呼んだり、言葉遣いに気を付けて対応することができた。	3.6	3.6	3.6
地域の人々と ともに 学校を 共生する	21	私は、特別支援学校のセンター的機能（教育相談、小・中学校等の支援、研修支援等）を発揮するための組織の一員として取り組むことができた。	2.9	2.8	3.2
	22	私は、地域の人材（講師やボランティア等）や社会教育施設など地域資源を活用した授業（活動）を計画的に取り組むことができた。	3.0	2.9	3.0
	23	私は、地域（近隣地域、学校間、居住地等の交流等）と協働した教育活動を行うことができた。	2.9	3.0	3.1
やりが 職員が もてる 仕事に 学校	24	私は、教職員間で、子どもの話をしたり、相談し合ったりするなど協力し合って仕事に取り組むことができた。	3.5	3.4	3.5
	25	私は、児童生徒の個人情報の保護・管理（情報の管理、発信・発送等）に努めることができた。	3.6	3.6	3.8
	26	私は、教育公務員として法令遵守に取り組むことができた。	3.8	3.8	3.8
	27	私は、自身の資質・能力、専門性の向上のために、学校内外の研修や校内研究に積極的に参加することができた。	3.0	3.0	3.1
	28	私は、節約を意識し、必要量だけの物品購入や会議資料のペーパーレス化等、適切に処理することができた。	3.3	3.3	3.5
	29	私は、各種アンケートをクラウド上で行うなど、校務のDX化に取り組むことができた。	2.8	3.0	—

令和6年度（2024年度） 本校に関する保護者アンケート結果

(文書配付98世帯 回答56世帯 回答率57.1%)
※R5回答率40.9%

カテゴリ	No.	質問項目	R6	R5	R4
学校経営	1	学校は、教育目標や目指す児童生徒像等を意識して指導している。	3.7	3.6	3.6
	2	児童生徒にとって、学校生活は楽しく充実したものになっている。	3.6	3.7	3.6
	3	本校の教育に満足している。	3.5	3.6	3.7
	4	学校行事（運動会、球技大会、陸上記録会、学習発表会、学部祭等）は、児童生徒が主体的に取り組めるよう工夫されている。	3.6	3.5	3.7
児童生徒の学ぶ意欲が高まる学校	5	個別の指導計画（学校）や個別の生活指導計画（寄宿舎）を踏まえた指導・支援に取り組んでいる。	3.7	3.7	3.8
	6	児童生徒一人一人の主体性や可能性を大切にした授業や生活指導が行われている。	3.6	3.6	3.6
	7	学校では、小学部から高等部までの一貫性やつながりを意識した教育活動が行われている。	3.4	—	—
	8	児童生徒にとって分かりやすく、意欲的に取り組むことができる授業が行われている。	3.6	3.5	3.6
	9	児童生徒の成長や学習（生活）の様子が分かりやすく掲示されている。	3.6	3.6	3.6
	10	【寄宿舎生の保護者のみ】 寄宿舎での生活指導は、将来の生活につながる取組（生活力、余暇活動等）を行っている。	4.0	3.8	3.9
	11	学年・学部が変わったとき、指導目標や支援内容・方法の引継ぎが適切に行われた。	3.6	3.7	3.3
保護者が安心、信頼できる学校	12	学校は、学年通信やホームページ、学校だより等で学習活動の様子や情報を積極的に発信している。	3.6	3.7	3.6
	13	学校は、保護者の思いを受け止めながら児童生徒の教育を行っている。	3.7	3.6	3.6
	14	学校は、関係機関（美唄学園、デイサービス等）と連携・協力した支援を行っている。	3.5	3.4	3.5
	15	進路を考える上で参考となる情報が提供されている。	3.6	3.7	3.5
	16	食物アレルギー対応に関して、除去食や食形態など、児童生徒のニーズに応じた給食が提供されている。	3.7	3.8	3.8
	17	学校は、避難訓練や不審者及び交通安全への対応を十分に行っている。	3.4	3.6	3.7
	18	保護者や教職員と連携、協力してPTA活動に参加することができた（今年度は、施設見学会、給食試食会、茶話会等）。	3.5	3.6	—
	19	学校職員は、児童生徒を「さん」を付けて呼んだり、言葉遣いに気を付けている。	3.9	3.7	3.9
地域の人々と共 学校する	20	地域の人材（講師やボランティア等）や社会教育施設（美術館、公共交通機関等）など地域資源を活用した授業（校外学習等）に取り組んでいる。	3.7	3.7	3.4
	21	学校は、地域（近隣地域、学校間交流学習、居住地等の交流等）と協働した教育活動を行っている。	3.6	3.7	3.5
職員が仕事に やりがいをもてる学 校	22	学校は、教職員が協力し合って仕事に取り組んでいる。	3.5	3.8	3.6
	23	学校職員は、児童生徒の個人情報の保護に努めている。	3.7	3.8	3.9
	24	学校職員は、法令遵守に取り組むことができている。	3.7	3.8	3.9

令和6年度（2024年度）本校に関する関係機関アンケート結果

（文書送付24事業所 回答17事業所 回答率70.8%）
※R5回収率：42.9%

No.	質問項目	R6	R5	R4
1	本校職員の挨拶や対応は、社会人として適切である。	3.8	4.0	3.8
2	本校は、事業所や施設等との連携は適切にしている。	3.2	3.7	3.8
3	本校の教育活動について、よく知っている。	3.1	3.1	3.4
4	本校は、相談や子どもの話などをしやすい学校である。	3.3	3.6	3.6
5	本校は、何かあったときには、頼りになる学校である（と思う）。	3.3	3.8	3.6
6	本校職員は、子どもに対して人権に配慮した対応をしている。	3.3	3.8	3.8